

## ⑤ 糖尿病の薬物療法

### 薬物療法の目的

糖尿病治療の基本である食事療法と運動療法では十分な血糖コントロールが得られない場合に、薬物療法を追加します。経口薬（飲み薬）と注射薬があります。



### 経口薬の種類と作用

|                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| インスリン<br>分泌促進薬  | スルホニル尿素薬（SU 薬）       |
|                 | 速効型インスリン分泌促進薬        |
|                 | DPP-4 阻害薬            |
| インスリン<br>抵抗性改善薬 | ビグアライド薬              |
|                 | チアゾリジン薬              |
| 糖吸収・排泄<br>調節薬   | $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬 |
|                 | SGLT2 阻害薬            |

## スルホニル尿素薬（SU 薬）

【アマリール、グリミクロン、オイグルコン】

- ・インスリンを分泌する膵臓を刺激して、インスリン分泌を促進するお薬です。
- ・1日の血糖値を全体的に下げます。
- ・血糖を下げる力が強いいため、低血糖に注意が必要です。



## 速効型インスリン分泌促進薬

【シュアポスト、グルファスト】

- ・インスリンを分泌する膵臓を刺激して、インスリン分泌を促進するお薬です。
- ・スルホニル尿素薬（SU 薬）よりも速やかにインスリンが分泌され、食後の高血糖を改善します。
- ・食事までの時間があくと低血糖になる可能性があるため、必ず食事の直前に服用しましょう。

## DPP-4 阻害薬

【グラクティブ、トラゼンタ、テネリア、エクア、オングリザ、ネシーナ】

- ・膵臓からインスリンが分泌されるのに必要なインクレチンというホルモンを増やして、インスリンの分泌を促進するお薬です。
- ・高血糖のときにしか作用しないため、低血糖になりにくいとされていますが、併用する他のお薬がある場合は注意が必要です。
- ・1週間に1度の服用でも効果のあるお薬もあります【ザファテック】



## ビグアナイド薬

【メトグルコ】

- ・肝臓でブドウ糖が過剰に作られるのを抑えるお薬です。
- ・筋肉や脂肪のインスリンに対する感受性をよくし、小腸ではブドウ糖の吸収を抑えます。

- ・非常にまれに（特にシックデイ）、乳酸アシドーシス（血液内に乳酸がたまり、血液が酸性に傾く状態）という危険な副作用があります。

## チアゾリジン薬

### 【アクトス】

- ・脂肪や筋肉に働きかけて、インスリンに対する感受性をよくするお薬です。
- ・むくみが現れることがあります。
- ・体重が増えることがあるので、食事療法と運動療法をきちんとしましょう。



## $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬

### 【ベイスン、セイブル】

- ・小腸での糖質の消化・吸収を遅らせ、食後の高血糖を改善するお薬です。
- ・食後に内服しても効果がないため、必ず食事の直前に服用しましょう。

- おなかが張ったり、おならの回数が増えることがあります。

## SGLT2 阻害薬

【フォシーガ、カナグル、ジャディアンス】

- 腎臓において、ブドウ糖の再吸収を阻害し、尿中へのブドウ糖の排出を促進するお薬です。
- 体重を減らす効果が期待できます。
- 尿の回数や量が増えたり、泌尿器の感染症が増える可能性があります。
- 脱水症を予防するため、十分な水分補給が必要です。

---

2種類の薬の合剤【グルベス、リオベル】、最近ではDPP-4阻害薬とビグアナイド薬との合剤【エクメット】やSGLT2阻害薬との合剤【カナリア】が発売され、薬価が安くなっています。飲み忘れも少なくなります。主治医の先生に相

談してください。

---

## 注射薬の種類と作用

---

注射薬は練習して自己注射が可能です。また、  
血糖自己測定も保険で認められています。

### インスリン注射薬

- 不足しているインスリンを、体の外から注射で補給して血糖値を下げます。
- 超速効型【ヒューマログ、ノボラピッド】、速効型【ヒューマリンR、ノボリンR】、中間型【ヒューマリンN、ノボリンN】、混合型【ライゾデグ（超速効型：持効型インスリン＝3：7）】、持効型【ランタス、トレシーバ】などの種類があります。



使用量、使い方は患者さんの血糖値により主治  
医の先生から指導を受けます。

- 低血糖になることがあるので、用法・用量を  
きちんと守り ましょう。
- 低血糖になった 場合は『ブドウ糖』  
をとる必要が あります。



### GLP-1 受容体作動薬

【ビクトーザ、バイエッタ】、

【週1回投与のトルリシティ】

- 膵臓からインスリンが分泌されるのに必要な  
インクレチンというホルモンのひとつ、  
GLP-1 と同じ働きをする注射薬で、インスリ  
ンの分泌を促進するお薬です。
- 高血糖のときにしか作用しないため、低血糖  
になりにくいとされていますが、併用するお  
薬がある場合は注意が必要です。